

単元名 につぼんのうた みんなのうた(1)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律の反復や変化、元となる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いたりすることができる。
- (3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

04070102_001

【教材名】 TODAY (歌唱) (P.4～P.5) さくら さくら (歌唱 共通教材) さくら変そう曲 (鑑賞) (P.8～P.11)

【準備等】 範唱CD、桜の映像や写真など、琴、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 明るく伸びやかな声で「TODAY」を歌う。</p> <p>○ 範唱CDを聴き、学習課題をつかむ。</p> <p>★ 明るく伸びやかに歌おう</p> <p>○ 歌詞唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聴唱法で歌う。 ・ リズムにのって、明るく声を響かせながら歌う。 ・ フレーズのまとまりを意識して歌う。 <p>2 情景を想像しながら「さくら さくら」(共)を歌う。</p> <p>○ 範唱CDを聴き、学習課題をつかむ。</p> <p>★ 春の情景を想像しながら歌おう</p> <p>○ 歌詞唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の写真などを基に、情景を思い浮かべる。 ・ フレーズを意識しながら歌詞唱する。 <p>○ 階名唱をし、旋律の特徴を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成音とその音階の響きを聴き、特徴を感じ取る。 <p>○ 情景を思い浮かべ、曲想に合った声で歌詞唱する。</p> <p>3 「さくら変奏曲」を聴いて箏の音色を味わう。</p> <p>○ 「さくら さくら」を歌い、学習課題をつかむ。</p> <p>★ 箏の音色を味わおう</p> <p>○ 「さくら変奏曲」を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律と箏の音色に着目して聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望と勇気があふれる、明るい曲想をつかませる。 ・ 学年最初の曲なので、楽しい雰囲気づくりを心掛ける。 ・ 新学期の新しいスタートの気持ちを込めて、生き生きと歌わせる。 ・ 記号ごとに旋律や曲想、歌詞との関わりについて話題にしていけるとよい。 <p>【共通事項】 旋律</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「さあ今」「笑顔へと変わるよ」の部分は音が跳躍するため、響きや呼吸を意識した発声ができるようにする。 ・ 余裕があれば、二部合唱を行ってもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ この時間だけでなく、授業の導入などに継続して歌っていくとよい。 <p>【評】 歌詞や曲想を生かして表現をする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本文化特有の雅やかな雰囲気を感じ取らせる。 ・ P11の「『さくら さくら』について」を読み、江戸時代から伝わる日本の代表的な曲であることを押さえる。 ・ 映像や写真、絵などを使って具体的なイメージづくりをさせるとよい。 ・ 新学期や入学式、花見など、桜から連想されることを話し合いイメージを膨らませる。校庭の桜を見に行つて印象付けてもよい。 ・ ミファラシドミが使われていることに気付かせ、日本特有の雰囲気が表現されていることを感じ取らせる。 <p>【共通事項】 音階</p> <p>【評】 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりを捉える活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「さくら」の言葉に気持ちを込めるように歌わせる。 ・ 落ち着いた速さで丁寧に歌わせる。 ・ 音程に気を付けながら、音の移り変わりをなめらかに歌うようにさせる。 ・ フレーズのまとまりを意識して歌わせる。 <p>【評】 呼吸及び発音に気を付けて歌う活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校に箏があれば、見せたり、音を聴かせたりするとよい。 ・ 「さくら さくら」の魅力を生かした変奏曲である。 ・ 楽曲の変化を感じ取らせる。速さの変化の他にも、旋律がゆったりと流れている部分と弾んだ感じの部分があることや、奏法によって様々な音色が表現されていることなどにも気付かせていく。

【共通事項】音色 反復 変化
【評】旋律の反復や変化，元となる音階，楽器の音色を聴き取り，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えながら聴く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】